



マイコプラズマ感染症とは？



医師 阿部 直歩

マイコプラズマは、非常に日常的な感染症です。
通常通年性にみられる疾患ですが、晩秋から早春にかけて、
幼児期、学童期、青年期の年齢層を中心に流行すると言われてい
ます。従来4年周期でオリンピックのある年に流行を繰り返してきま
したが、近年はこの傾向はみられなくなってきました。

<症状>

初めは、発熱、全身倦怠感、頭痛などで始まることが多いです。咳は初発症状が出現した3-5日頃から始まることが多く、最初は乾いた咳ですが、だんだんと強くなり、解熱後もしばらく(3-4週間)咳のみ続くこともあります。特に年長児や青年期では後半には、痰の絡んだ咳になってくることもあります。

肺炎に関しては、以前は元気で一般状態は悪くないことが特徴、と言われていましたが、重症肺炎となり、胸水が貯まることもあります。その他、中耳炎、髄膜炎、脳炎、心筋炎など多彩な合併症をきたすこともあります。



<感染様式>

感染患者さんからの飛沫感染と接触感染で感染します。通常閉鎖空間で感染が拡大していくとされていますが、学校などでの短時間での接触では感染の可能性は高くなく、友人間や家族間での濃厚な接触により感染が広まります。

病原体の排出は、症状発現前の2-8日からみられるとされ、症状発現時にピークとなり、高いレベルが1週間ほど続いた後、4-6週程度排出が続きます。

<診断>

前述した典型的な臨床像、経過から診断することができます。聴診器で胸の音を聞いて異常を認めなくても、胸部レントゲン検査で異常陰影を認めることがあるので、診断においてレントゲン検査は重要です。また、のどを拭った液や血液検査で診断することができます。



<治療>

抗菌薬の内服が治療となります。年齢によって、使用できる薬剤が異なります。近年は、薬剤耐性のマイコプラズマが増えてきていて、抗生剤を内服しても、なかなか解熱しないこともあります。ただし、この場合も発熱期間が長引く、ということ以外は問題にならないことがほとんどです。

症状が落ち着けば学校へ登校してもかまいません。また特別な予防法はありませんが、流行期には手洗い、うがいをしっかり行い、患者さんとの濃厚な接触は避けるようにしましょう。



気になる！Q&A

Q：熱があるけど、お風呂に入ってもよいですか？

A：熱が高いときは、お風呂はお休みしましょう。お風呂で体力を消耗したり、脱水症状がひどくなってしまいます。熱がそれほど高くなく（37.5℃前後）元気があるようなら、汗を流す程度の入浴はできます。その場合はさっとあがるようにし、長湯は避けましょう。熱が高くたくさん汗をかいているときは、ぬるめのシャワーをさっと浴びせてすぐに着替えたり、暖かいタオルで体を拭いたりお尻を軽くシャワーで流したりするだけで体はさっぱりとします。

Q：熱があるときの食事は？

A：食事の内容は何でもかまいません。熱が高いときやのどがはれている場合は、のど越しのよいものや冷たいものが向いています。高熱が続くと消化機能（おなかの調子）が弱くなります。その場合は消化のよいものにして、油や消化の悪いものは避けましょう。食欲がなく食事をほしがらないときは、無理に食事をさせる必要はありませんが、水分はこまめにしっかりとるようにしましょう。



Q：熱があるけど、水分をとりたがりません。

A：高い熱のとき、目に見えない水蒸気の汗をたくさんかいています。熱が高くいつもよりも食欲がない場合は、特に水分が不足してしまいます。体の成分の60～70%が水分でできている子どもが、水分を失うと「脱水症状」という危険な状態になります。そうならないためにも、熱があるときは水分をしっかりとらせましょう。酸味の強いもの（オレンジやグレープフルーツ果汁など）や刺激の強いもの（炭酸飲料など）を避け、味の薄いものを選びましょう。イオン飲料は水分だけでなく、体の機能を保つために必要な「電解質」をバランスよく含んでいるため、効果的に水分がとれます。水分を飲みたがらないときは、氷やシャーベット・ゼリーなどに形を変えるととることができるようです。少しずつこまめに水分をとらせましょう。



各専門外来の予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 皮膚科 小児外科 腎外来（桑門） 児童精神（宮本）	5 皮膚科 小児外科 神経外来（岡成）	6 皮膚科 小児外科 児童精神（宮本）	7 皮膚科 小児外科
8	9 循環器外来（赤木）	10 皮膚科 小児外科	11 皮膚科 小児外科 こどもの心外来 腎外来（桑門） 児童精神（宮本）	12 皮膚科 神経外来（福島）	13 皮膚科 小児外科 児童精神（宮本）	14 皮膚科 小児外科 泌尿器外来 腎外来（田中）
15	16 皮膚科 小児外科 児童精神（宮本）	17 皮膚科 小児外科	18 皮膚科 小児外科 腎外来（桑門） 児童精神（宮本）	19 皮膚科 小児外科 神経外来（岡成） 内分泌外来（井原）	20 皮膚科 小児外科 児童精神（宮本）	21 皮膚科
22	23 皮膚科 児童精神（宮本）	24 皮膚科	25 皮膚科 腎外来（桑門） 児童精神（宮本）	26 皮膚科 神経外来（福島）	27 皮膚科 小児外科 児童精神（宮本）	28 皮膚科 小児外科
29	30 皮膚科 小児外科 児童精神（宮本）	31 皮膚科 小児外科				

※各専門外来は完全予約制になります。ご希望の方は受付またはお電話でお問い合わせください。

青…午前のみ 桃…午後のみ オレンジ…終日